

お客さまへ

ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

	警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。(火災・感電・落下の原因)	
	器具を布や紙などで覆わない。(可燃物をかぶせて使用すると火災の原因)	
	器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。(火災・感電の原因)	

	注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの	
	お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士の資格が必要です。(火災・感電の原因)		器具は指定の制御装置と組み合わせて使用する。(過熱して火災の原因)
	器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。(過熱して火災の原因)		
	光を直視しない。(長時間直視すると目を痛める原因)		厳守

・照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。LED光源は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。

・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。
・3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
・点検せずに長期間使用し続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

お知らせ

・テレビ、ラジオなどの音響機器や、赤外線リモコン、ワイヤレス機器などに、雑音や動作不良を起こす場合があります。
・器具の近くでワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に作動しない場合があります。
・放送設備などの音声信号や映像信号は微弱なため、電源線や安定器の配線からの雑音を受けることがあります。
・LED素子にはパルスがあるため、器具内の個々のLEDや同一形名の器具でも発光色、明るさが異なる場合があります。
・連続調光の下限域で使用する場合、器具ごとの明るさがばらつくことがあります。

・点灯または消灯後にピシッピシと音がする場合があります。材料または部品の伸縮により起こる摩擦音で、器具の異常ではありません。
・壁面や床面等への照射距離が近い時や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。
・誘導及び空間波無線に対する影響
使用周波数が数百kHzの誘導無線(同時通訳システム)及び数百MHzの空間波無線の場合、雑音が入ることがありますので事前確認することをおすすめします。
100V電源の場合には、接地工事することにより低減できる場合があります。

お願い

・LED光源の交換はできません。交換の際は器具ごと交換してください。

お手入れ

<器具> 器具の汚れがひどいときは、柔らかい布を使用量の目安まで水でうすめた台所用中性洗剤につけてよくしぼってから拭きとり、さらに洗剤成分が残らないようによくしぼった水拭き用の柔らかい布で仕上げてください。台所用中性洗剤は、原液のまま使用しないと、シンナー・ベンジン・みがき粉やたわし・熱湯・アルカリ性洗剤・薬品などは使用しないでください。
<カバー> カバーはキズつきやすいのでメガネ拭き等柔らかい布で拭いてください。強い力で拭いたり、化学雑巾を使用しないでください。

警告
電源スイッチを切ってから行う
(感電の原因)

注意
点灯中および消灯直後の器具には触らない
(高温のためやけどの原因)

保証とアフターサービス

※保証期間と保証内容についての詳細はカタログを参照ください。

- ・**無償修理**: 照明器具の商品納入日より1年間、また照明器具に内蔵されているLED光源・電源ユニットは3年間、交換用モジュールユニットは商品納入日より3年間です。
- ・**無償提供**: LED光源・電源ユニットの故障による不点灯不具合につきましては、代替商品またはLED光源・電源ユニットを5年間無償提供させていただきます。
- ・**モジュールユニット交換後の保証期間**: 交換用モジュールユニットが起因の不具合に関しては、交換後5年間です。交換用モジュールユニット以外の部品が起因の不具合に関しては、器具納入から5年間です。

異常時の処置

警告
煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。(火災・感電の原因)
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

取扱い・修理のご相談は、**まずお買上げの販売店・施工者・設備業者へ**

三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船 2-14-40

ご相談窓口 照明技術相談センター
 0120-348-027 (無料)
受付時間 9時～17時(土・日・祝日は除く)
FAX (0467) 46-8861

この説明書は、再生紙を使用しています。

お買上げの販売店等にご依頼できない場合は、ご相談窓口へお問い合わせください。



このたびは三菱照明器具をお買上げいただきありがとうございました。

E770Z703H22

保管用

[5～100%連続調光形]

三菱LED照明器具

マルチグリッド システム天井用

本器具は光源寿命末期まで、常に標準出力モードの約86%の光束を維持するよう設計されています。

形名	EL-G35200AN/6 AHZ	EL-G35200AW/6 AHZ	(600×600モジュール)	<高出力用モジュールユニット>
	EL-G35201AN/6 AHZ	EL-G35201AW/6 AHZ	(600×600モジュール)	EL-GU45200N
	EL-G35211AN/6 AHZ	EL-G35211AW/6 AHZ	(600×600モジュール)	EL-GU45200W

(公共施設用:LRS28-6-30)

据付工事説明書 取扱説明書

- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。またアフターサービスもできません。
- 電源周波数 50Hz、60Hz 共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。
- モジュールユニット交換方法は「高出力用モジュールユニット取扱説明書」(E770Z718)を参照してください。

施工者さまへ

- 施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
- 取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

図記号の意味は次のとおりです。

- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、 警告、 注意の表示で区分して説明しています。表示の意味は表中で説明しています。
- 絶対に行わないでください。
- 必ず指示に従って行ってください。

	警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの		
	引火する危険のある雰囲気(ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所)で使用しない。(火災の原因)		禁止	器具同士を隣接(縦・横・斜め)させない。Tバーの許容荷重超過による落下の原因となります。(縦の連結することは、構造上もできません)
	器具取付けの際は電線を挟まない。(絶縁不良により感電・火災の原因)			電源線を器具の外郭に直接触れさせない。(過熱して火災の原因)
	配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。(絶縁破壊により感電・火災の原因)			施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程に従って行う。(施工不備により、落下・感電・火災の原因)
	断熱材、防音材をかぶせて使用しない。(火災の原因)		厳守	

	注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの			
	禁止	高温〔35℃を超える〕、高湿〔85%RHを超える〕、粉じん、機械工場などの油煙のある場所、強い振動・衝撃のある場所で使用しない。(落下・感電・火災の原因)		禁止	器具の外郭を天井内の造営材・ダクトに触れさせない。(感電・火災の原因)
		さびの出やすい場所、腐食性ガスやオゾンが発生する場所で使用しない。(劣化による落下の原因)			表示された電源電圧以外では使用しない。特に定格電圧の90%以下の電圧使用は、安定器の短寿命、故障となります。(感電・火災の原因)
		システム天井専用器具です。傾斜天井や補強のない天井には取付けない。(落下・火災の原因)			器具のノックアウトを外す場合は工具により電線を傷つけない。(絶縁不良により感電・火災の原因)
	一般屋内用器具です。屋外や風呂場など水気や湿気の多い場所で使用しない。(絶縁不良により感電・火災の原因)		禁止		狭い箱のような中で使用しない。また、器具を隠して使用する場合は、放熱を妨げない。(過熱による火災の原因)
	雨水のかかる場所で使用しない。(水気・湿気が入り感電の原因)		禁止		

お願い

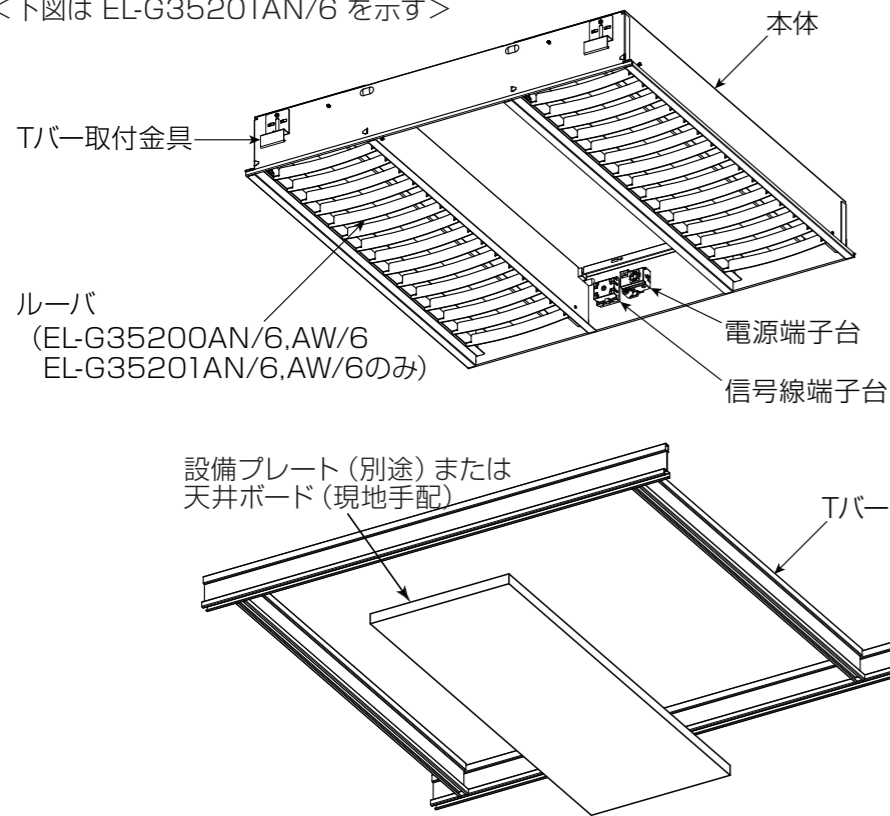
- ・周囲温度は、5～35℃以内でご利用ください。5℃以下の低温域での使用は、結露などにより絶縁不良・火災・感電の原因になります。
- ・温泉地など、硫黄成分を含む腐食性ガスやオゾンが発生する場所では使用しないでください。光学特性に不具合が発生する原因となります。
- ・油煙のある場所では使用しないでください。(光学特性が低下する原因となります)
- ・器具と半導体スイッチ式人感センサスイッチを組合せるとチラツキや騒音の発生、電源ユニット故障の恐れがあります。リレー接点式人感センサスイッチをご利用ください。
- ・電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
- ・電源スイッチに片切スイッチを使用する場合、片切スイッチを電源の高圧側に設置してください。200V電源をご利用の場合は両切スイッチを使用してください。スイッチを切っても微発光する現象の原因となります。

形名	定格電圧	周波数	入力電流 (A)			消費電力 (W)			LED光源寿命 (光束維持率95%時)
			100V	200V	242V	100V	200V	242V	
EL-G35200AN/6, EL-G35200AW/6 EL-G35201AN/6, EL-G35201AW/6 EL-G35211AN/6, EL-G35211AW/6	AC100-242V	50/60Hz	0.28	0.14	0.12	27.9	27.5	27.5	40,000h

※各特性値は標準時の値となります。

各部のなまえと取付けかた

<下図は EL-G35201AN/6 を示す>



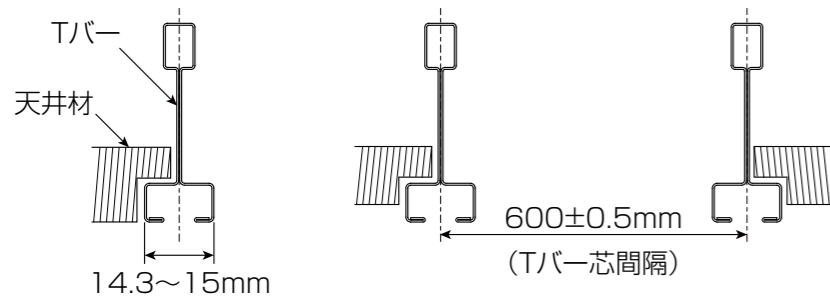
お願い

- 器具を立て掛けて床などに置かないでください。取付金具などが変形し施工できなくなります。
- 器具を取扱う時は、本体部分を均等に持ってください。片側のみで持つと器具が変形するおそれがあります。
- 器具の取付けは、ほこりが散乱している状態では行わないでください。

1 取付前の確認

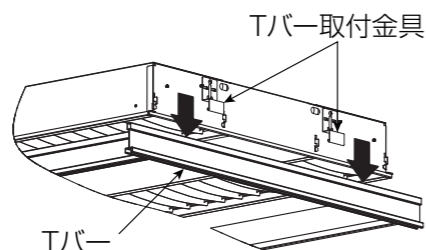
- この照明器具はマルチグリッドシステム天井専用です。適合Tバー巾寸法とTバー芯間隔を事前に確認する。

警告
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける (落下の原因)



2 器具本体を取付ける

- 器具のTバー取付金具(4ヶ所)をTバーに確実に差し込む。

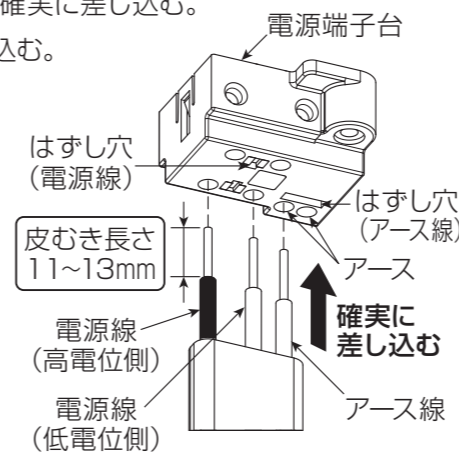


3 電源線を電源端子台に接続する

- 電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。
- アース線を差し込み穴に確実に差し込む。

警告

- 接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因
- アース工事は電気設備の技術基準に従い行う (アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因)

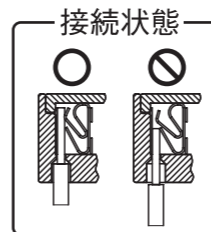


< D 種 (第3種) 接地工事が必要です >

- 電源端子台の容量は 20A です
- 適合引込み電源線:
φ 1.6mm VVF 単線 または φ 2.0mm VVF 単線

警告

- 送り配線は照明器具専用とし、容量を確認して接続する (容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因)
- 電源の接続は適合太さの電源線の被覆を指定長さにむき、1本ずつ速結端子の奥まで差し込む (差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因)



- 電源端子台に接続された電源線を取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバーを、はずし穴へまっすぐに差し込んでください。

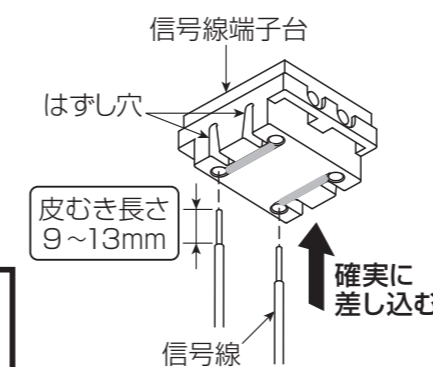
4 信号線を信号線端子台に接続する

- 信号線を信号線端子台の差し込み穴に確実に差し込む。

- 適合信号線:
φ 0.9mm CPEV-1P または φ 1.2mm CPEV-1P

接続が不完全な場合、動作不良の原因となります。

- 信号線端子台に接続された信号線を取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバーを、はずし穴へまっすぐに差し込んでください。



警告

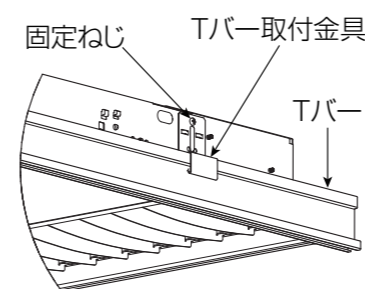
- 信号線端子台には電源線を接続しない (過熱・損傷し火災の原因)

5 器具本体の取り外しかた

- Tバー取付金具(4ヶ所)の固定ねじをゆるめ、Tバー取付金具をTバーから外す。

警告

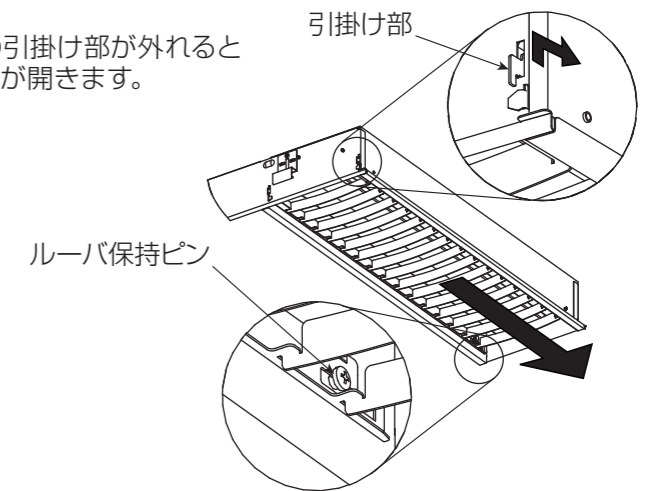
- Tバー取付金具を器具本体より完全に取り外さない (落下の原因)



6 ルーバの外しかた

(EL-G35200AN/6,W/6 EL-G35201AN/6,W/6 のみ)

- ルーバを軽く押し上げ、矢印の方向 (ルーバ保持ピン側) にスライドさせる。
- 先端の引掛け部が外れるとルーバが開きます。

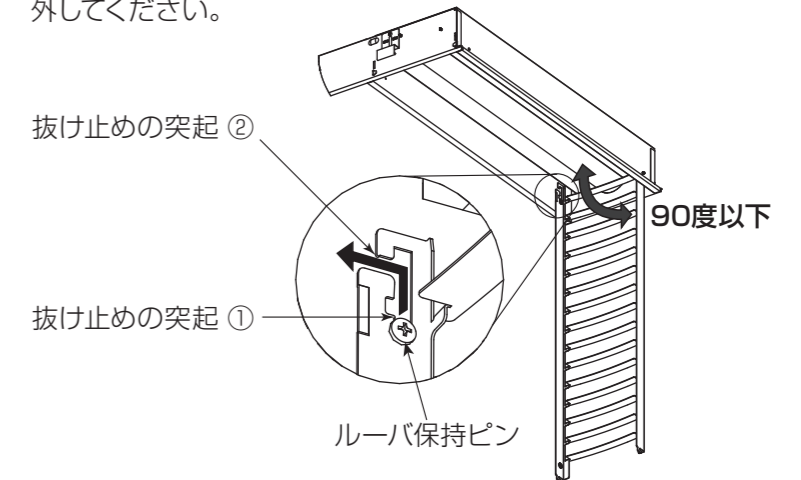


警告

- ルーバを 90 度より大きく開かない (ルーバが変形する原因)

- 本体側のルーバ保持ピンからルーバを軽く押し上げ、下図の矢印の方向へ通してルーバ保持ピンから外す。

- 抜け止めの突起が片側2箇所ずつあります。片側ずつ軽く押して外してください。



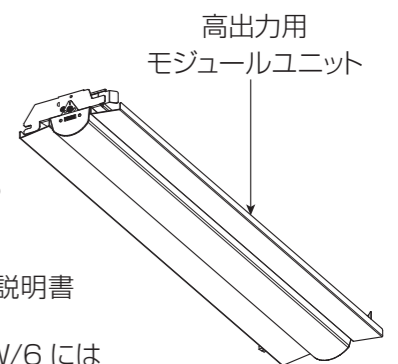
7 その他

- 出力切替方法

- 本器具は、下記の高出力用モジュールユニットと交換することで器具の光束を切り替えることが可能です。

交換方法及び施工時のご注意は、高出力用モジュールユニット付属の取扱説明書 (E770Z718) を参照してください。

- ※ EL-G35200AN/6、EL-G35200AW/6 には使用できません。



形名	定格電圧	周波数	入力電流 (A)			消費電力 (W)			LED 光源寿命 (光束維持率 95%時)
			100V	200V	242V	100V	200V	242V	
EL-GU45200N	AC100-242V	50/60Hz	0.36	0.18	0.15	35.2	34.6	34.6	40,000h
EL-GU45200W									

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
△警告、**△注意**の表示で区分して説明しています。
 表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

-  絶対に行わない
 ください。
 必ず指示に従い
 行ってください。

保管用

このたびは三菱照明器具をお買い上げいただき
 ありがとうございました。

[5 ~ 100%連続調光形]

本器具は光源寿命末期まで、常に標準出力モード
 の約86%の光束を維持する様設計されています。



三菱LED照明器具

マルチグリッド システム天井用 高出力用モジュールユニット

形名 **EL-GU45200N** **EL-GU45200W**

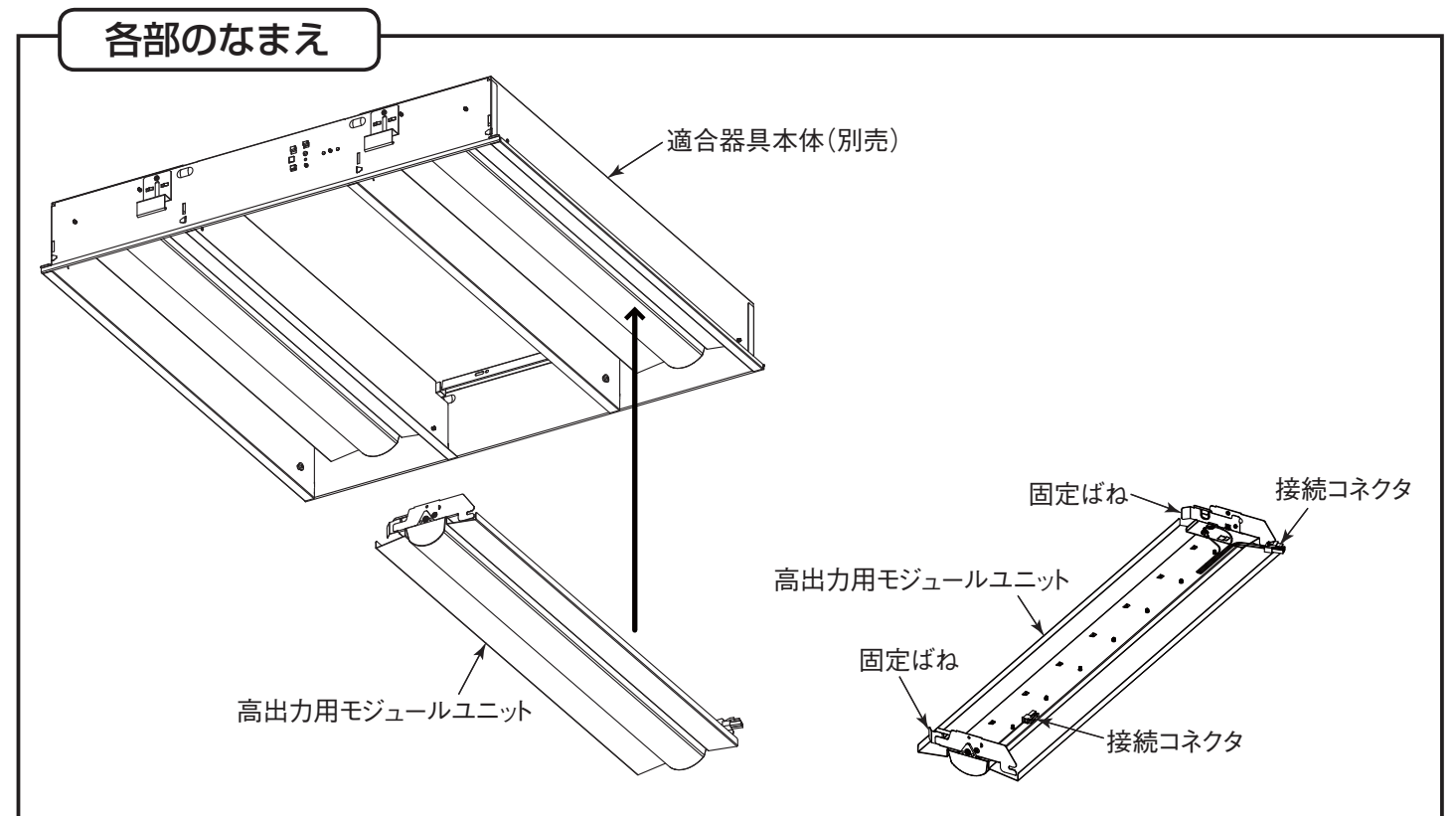
適合器具 **EL-G35201AN/6 AHZ** **EL-G35201AW/6 AHZ**
EL-G35201AN/6C AHZ **EL-G35201AW/6C AHZ**
EL-G35211AN/6 AHZ **EL-G35211AW/6 AHZ**

形名	定格電圧	周波数	入力電流 (A)			消費電力 (W)			LED 光源寿命 (光束維持率 95%時)
			100V	200V	242V	100V	200V	242V	
EL-GU45200N EL-GU45200W	AC100-242V	50/60Hz	0.36	0.18	0.15	35.2	34.6	34.6	40,000h

※値は適合器具取付時の値です。

取扱説明書

- 施工の前に、この説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
- この製品は日本国内用です。日本国外では使用できません。またアフターサービスもできません。
- 電源周波数 50Hz、60Hz 共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。








警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに
 結びつく可能性があるもの

 器具の改造や指定部品以外の交換はしない。
 (火災・感電・落下の原因)
 器具を布や紙などで覆わない。
 (可燃物をかぶせて使うと火災の原因)

 器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。
 (火災・感電の原因)
 禁止

注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・
 家財などの損害に結びつくもの

 お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士の
 資格が必要です。(火災・感電の原因)
 器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置か
 ない。(過熱して火災の原因)
 光を直視しない。(長時間直視すると目を痛める原因)

 器具は指定の制御装置と組み合わせて使う。
 (過熱して火災の原因)
 厳守 明るく安全にご使用いただくために半年に1回の
 保守・点検を行う。

・照明器具には寿命があります。設置して8~10年経つと、
 外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・
 交換をおすすめします。LED光源は寿命が来ても、暗くなり
 ますが点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して
 使用が可能というわけではありません。
 ※使用条件は周囲温度 30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。

・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が
 短くなります。
 ・3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受け
 ください。
 ・点検せずに長期間使用し続けると、まれに、発煙・
 発火・感電などに至る恐れがあります。

器具の取扱い

・テレビ、ラジオなどの音響機器や、赤外線リモコン、
 ワイヤレス機器などに、雑音や動作不良を起こす場合
 があります。

・器具の近くでワイヤレスマイクを使用すると、雑音が
 入り正常に作動しない場合があります。
 ・放送設備などの音声信号や映像信号は微弱なため、電源
 線や安定器の配線からの雑音を受けることがあります。

器具の清掃 **警告** 電源スイッチを切ってから行う (感電の原因)

<器具のお手入れについて>
 器具の汚れは、柔らかい布をうすめた中性洗剤につけてよくしぼってから拭きとり、さらに洗剤成分が
 残らないようによくしぼった水拭き用の柔らかい布で仕上げてください。
 シンナー、ベンジン、みがき粉やたわし、熱湯、アルカリ性洗剤、薬品などは使用しないでください。

<カバーのお手入れについて>
 カバーはキズつきやすいのでメガネ拭き等
 柔らかい布で拭いてください。

注意
 点灯中及び消灯直後の器具には触らない。(高温のためやけどの原因)

知っておいていただきたいこと

・点灯または消灯後にピシッピシッと音がする場合が
 あります。材料または部品の伸縮により起こる摩擦音
 で器具の異常ではありません。

・連続調光の下限域で使用する場合、器具ごとの明るさ
 がばらつくことがあります。予めご了承ください。

・誘導及び空間波無線に対する影響
 使用周波数が数百 kHz の誘導無線 (同時通訳システム)
 及び数百 MHz の空間波無線の場合、雑音が入ること
 がありますので事前確認することをおすすめします。
 100V 電源の場合には、接地工事することにより低減
 できる場合があります。

お願い

・LED素子にはバラツキがあるため、器具内の個々の
 LEDや同一形名の器具でも発光色、明るさが異なる
 場合があります。ご了承ください。

・LED光源の交換はできません。交換の際は器具ごと
 交換ください。
 ・壁面や床面等への照射距離が近い時や照射面によっ
 ては光ムラが気になる場合があります。ご了承ください。

保証について ※保証期間と保証内容についての詳細はカタログを参照ください。

・無償修理
 照明器具の商品納入日より1年間、また照明器具に
 内蔵されているLED光源・電源ユニットは3年間、
 交換用モジュールユニットは商品納入日より3年間です。

・無償提供
 交換用モジュールユニットが起因の不具合に関しては、交換
 後5年間、交換用モジュールユニット以外の部品が起因の
 不具合に関しては、器具納入から5年間、代替商品または
 LED光源・電源ユニットを無償提供させていただきます。

異常時の処置 **警告**

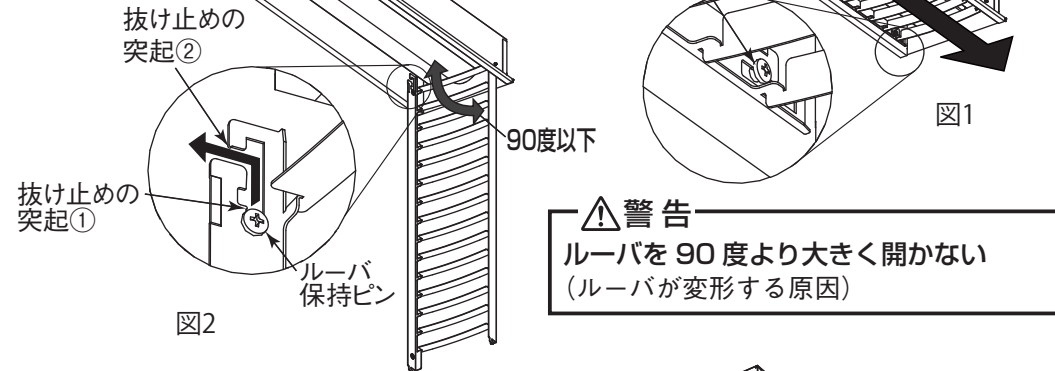
煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源を切る。(火災・感電の原因)
 煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

この説明書は、
 再生紙を使用
 しています。

三菱電機株式会社 〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40
 ☎(0467)41-2729 (営業本部)
 三菱電機照明株式会社 ☎(0467)41-2773 (品質保証部サービス課)

1 ルーバをはずす

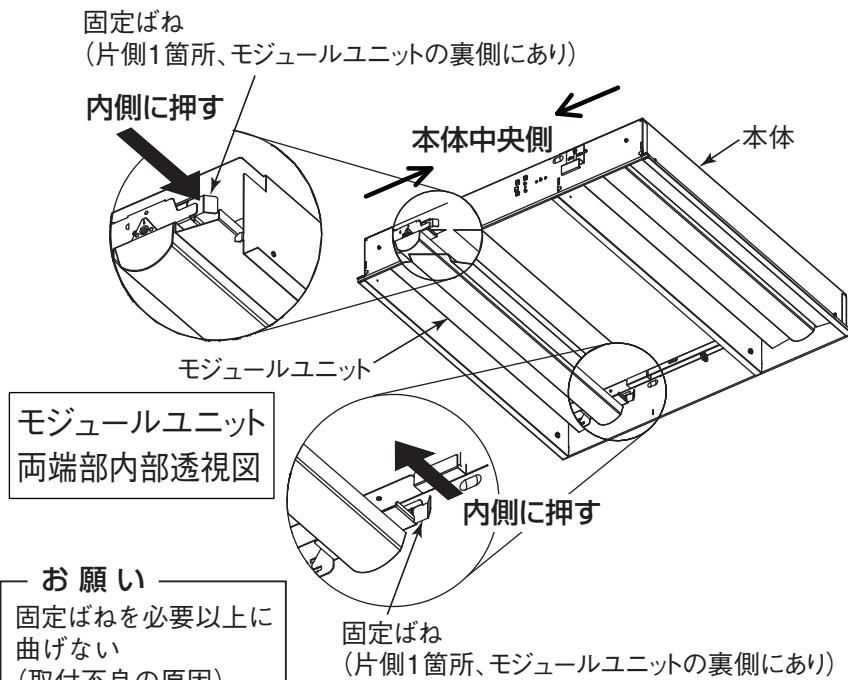
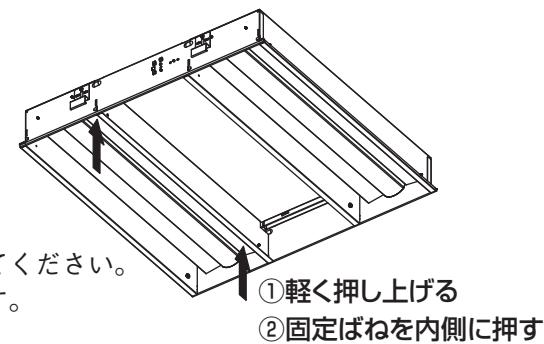
- (1) ルーバを軽く押し上げ、矢印の方向（ルーバ保持ピン側）にスライドさせる。（図1）
- (2) 先端の引掛け部がはずれるとルーバが開きます。
- (3) 本体側のルーバ保持ピンからルーバを軽く押し上げ、下図の矢印の方向へ通してルーバ保持ピンからはずす。（図2）



⚠警告
ルーバを90度より大きく開かない
(ルーバが変形する原因)

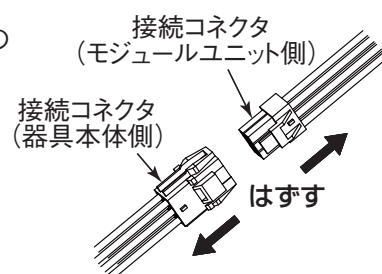
2 モジュールユニットを取りはずす

- (1) 両手でモジュールユニットの両端部を軽く押し上げる。
 - (2) 本体中央側のモジュールユニット裏側に指先を入れて、固定ばねを内側に押す。
- 固定ばねはモジュールユニットの裏側にあります。
 - モジュールユニットの着脱はルーバを取りはずした状態で行ってください。
 - 固定ばねがはずれるとモジュールユニットが垂れ下がってきます。

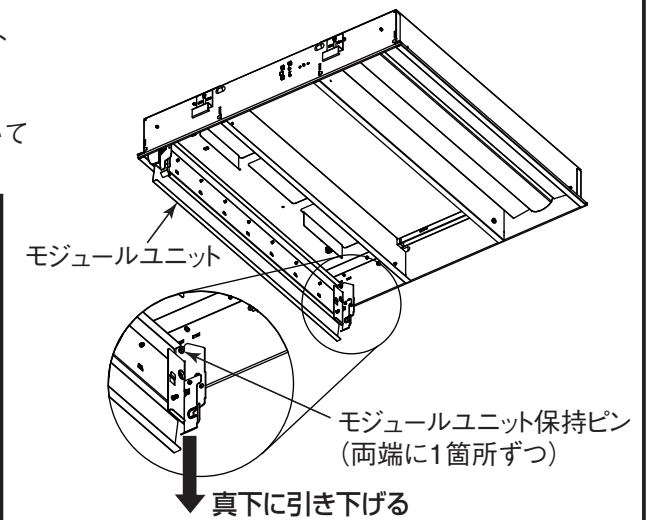
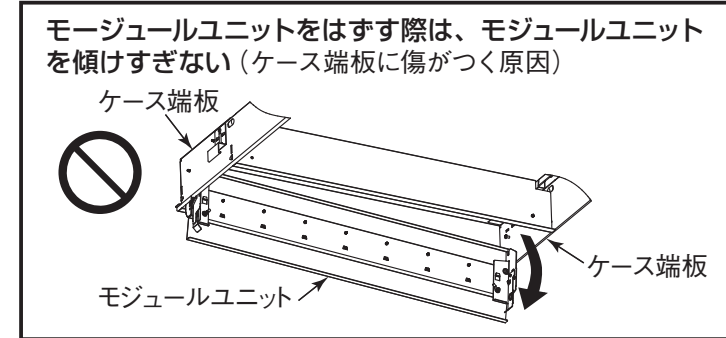


- (3) 器具本体側とモジュールユニット側の接続コネクタをはずす。（2箇所）

⚠警告
通電中、コネクタの抜き差しをしない（不点灯の原因）

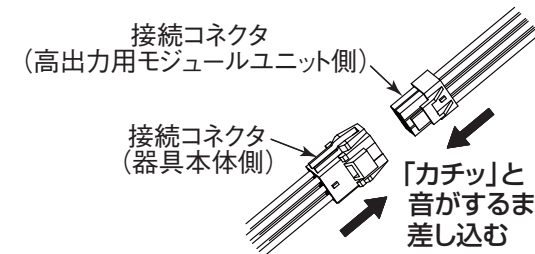
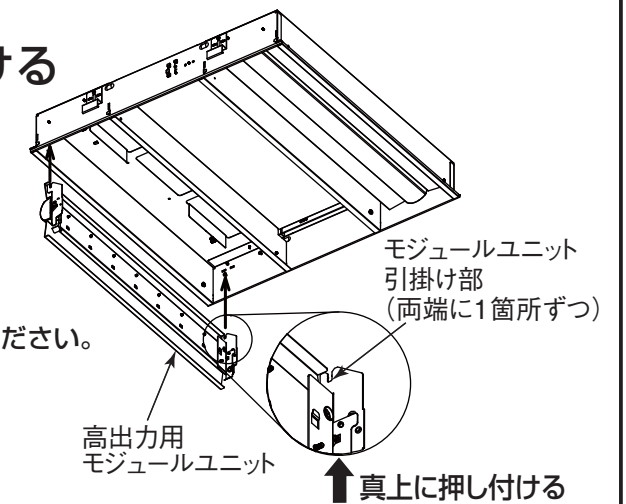


- (4) モジュールユニットを引き下げ、本体側のモジュールユニット保持ピンからはずす。
- モジュールユニット側に抜け止めの突起があります。片手でモジュールユニットを保持した状態で、片側ずつ引いてはずしてください。



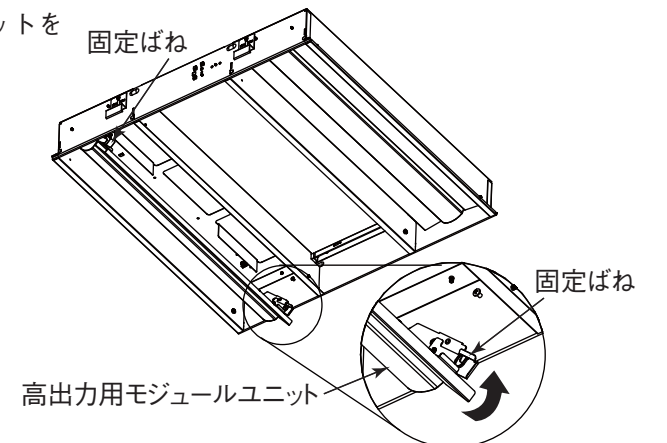
3 高出力用モジュールユニットを取付ける

- (1) 高出力用モジュールユニットのモジュールユニット引掛け部を本体側のモジュールユニット保持ピンにはめ込む。
 - (2) 器具本体側と高出力モジュールユニット側の接続コネクタを接続する。（片側2箇所）
- ※電源投入は、コネクタ接続後に行ってください。
 - ※電源投入後のコネクタ接続では点灯しません。復帰させる場合は、30秒以上電源を遮断して再点灯させてください。



⚠警告
通電中、コネクタの抜き差しをしない
(不点灯の原因)

- (3) 固定ばねを内側に押した状態で高出力用モジュールユニットを回転させ、本体側に押し上げる。
- 高出力用モジュールユニット取付後、軽く高出力用モジュールユニットを下に引っ張り、確実に取りついていることを確認してください。



⚠警告
コネクタ・リード線を挟み込まない
(火災・感電の原因)

⚠警告
取付けが不完全な場合落下の原因

⚠警告
モジュールユニットをモジュールユニット保持ピンだけに引掛けた状態で放置しない
(落下の原因)

4 ルーバを取付ける

「1. ルーバをはずす」の逆の手順で行う。

⚠警告
取付けが不完全な場合落下の原因